

「ピアノへの愛です」

その言葉が示す通りの人生をパオロ・ファツィオリ氏は歩んできた。ピアノメーカー・ファツィオリ社創立三十周年、日本での総代理店ピアノフォルティ社設立三周年で来日した氏。

一九四四年にローマで家具工場を営む家庭に生まれ、大学で機械工学を学び家業に就くも「これは自分のやりたいことではない」とピアノ制作に取り組んだ時が二十七歳。無謀ともいえる挑戦から四十年経った今、世界の音楽ファンは彼の作った最高の音を堪能している。

保守的なピアノのあり方に満足できず、理想の音を求めて最新のテクノロジーと己の感性を用いて得た音に、今や世界中のアーティストが魅了されている。欧米で絶大な人気を誇るピアノニスト、アンジェラ・ヒューイットはコンサートでファツィオリ以外のピアノは絶対に弾かない。そのピアノが奏でる音は量感・力感・浄感の全てを備え、弾く者聴く者を幸福感に包んでゆく。今回の記念式典で演奏したロシアの新鋭、アレクサンドル・ルビヤンツェフもファツィオリ

を弾くのが「楽しくて楽しくてしょうがない」様子だった。

「若い頃に好きだったピアノニストはルービンシュタイン。何より人生を楽しんでいるのが彼の演奏から聴こえてくるから」

人生をやり直せるとしたらまたピアノを作りますか？の質問に、意外や代替エネルギーに取



## ピアノへの愛です

I have a passion for pianos.

パオロ・ファツィオリ (ファツィオリ創業者)

Paolo Fazioli (founder of Fazioli)

り組みたいとのこと。  
「工場に太陽光発電装置を備えて必要電力の三分の一を賄っています。そして、ファツィオリのピアノは一台作るごとにトンの二酸化炭素の削減に貢献しているんですよ」  
その言葉にもファツィオリ・ピアノの浄らかな音色を感じた。

④

“I have a passion for pianos.”

These words of piano maker Paolo Fazioli neatly sum up his life.

This year is the 30th anniversary of the founding of Mr. Fazioli's namesake piano-making business, and the third anniversary of the company's distributor in Japan, Pianoforti. To mark both occasions, Mr. Fazioli recently paid a visit to Japan.

Born in Rome in 1944 in furniture-making family,

Mr. Fazioli studied mechanical engineering in college before joining the family business. However, at the age of 27, he realized that he was more interested in handcrafting pianos than in making chairs and tables. Although he had his share of skeptics when he started fashioning pianos, he relentlessly pursued his dream and now, forty years later, he continues to delight music lovers around the globe with the sublime sounds of his creations.